



交通安全ファミリー作文コンクール

竹山さん (1野津原小 年) 入賞

【大分】大分市野津原小1年の竹山明里さん(7) 同市野津原IIが警察庁主催の「交通安全ファミリー作文コンクール」で、佳作にあたる交通局長賞に選ばれた。竹山さんの兄は自宅前の道路で車にはねられ亡くなっており、速度超過やよそ見運転をしないよう呼びかける内容。「選ばれてうれしい。みんなに車の運転に気をつけてほしい」と話している。



ドライバーに交通安全を求める作文を朗読する竹山明里さんII大分市野津原

事故で亡くなった兄を思い 朗読「よそ見運転しないで」

コンクールは、子どもたちの交通安全意識向上などを目的に1979年に始まった。本年度は全国の小学生から4560点が寄せられ、最優秀2点、優秀11点、佳作23点が選ばれた。明里さんの作品は「てをあげておうだんほどうをわたります」。明里さんの生まれる9カ月前、兄の沓里ちゃんII当時(4)IIは自宅前の道路を横断中に車にはねられ亡くなった。両親は交通指導員をしており、いつも手を上げて横



警察庁の全国作文コンクールで入賞した竹山明里さんII県庁

断歩道を渡るよう言い聞かされていることや、兄を失った悲しみ、安全運転の思いをつづった。母の文(あや)さん(52)は「覚えてたての文字で原稿用紙3枚に一生懸命に書いた努力が実った」と入賞をたたえる。

2月初めには、野津原小で全校児童ら約120人を前に県警交通部の石角和久総括参事官から表彰状を受け取り、作文を朗読した。よそみうんてんは、しないでください。人前が苦手という明里さんは、目を潤ませ声を震わせながら、心を込めて作文を最後まで読み上げた。(小林滋)



〔問①〕 野津原小1年の竹山さんは「交通安全ファミリーコンクール作文コンクール」で何という賞に選ばれましたか。

〔問②〕 このコンクールに応募するきっかけとなった、竹山さんが生まれる9か月前の出来事はなんですか。

〔問③〕 あなたが普段の生活で事故に合わないよう気を付けていることを教えてください。